

県内26会場3万人

大学入試センター試験始まる

大学入試センター試験が13日、始まつた。県内高校の卒業見込み者と卒業者を合わせた志願者数は、昨年より1055人多い3万7990人（男2万2054人、女1万5936人）。このうち横浜市や川崎市の一部地域に住む志願者は東京都内を試験会場とする。14日までの日程で、神奈川では24大学26会場で2万9386人が受験する。

(丸山 孝) II 関連記事21面に

●大学入試センター試験で、試験開始を待つ受験生ら=横浜国立大学問題冊子の配布を待つ受験生=東京・本郷の東京大学



夫を凝らした。「子どもがをかなえてほしい」と話  
好きで、小児科医になるこ一た。

# 全国では58万人挑む

## 大雪や説明ミスで遅れも

本格的な入試シーズンの明ミスもあり、全国24で試験時間の繰り下げがなされた。試験は大学・短大・専門学校など、合計848校が参加し、うち55校が棄権した。試験は大学・短大・専門学校など、合計848校が参加し、うち55校が棄権した。

幕開けとなる大学入試センター試験が13日、全国の695会場で始まった。日程は14日までで、志願者数は学は過去最多の6977人で、

前年度より6704人増の  
58万2671人。大雪の影  
響のほか、センター側の説

全国では58万人挑む

たため、会場に来るのが遅れ、3時間繰り下がとなつた。北海道白老町のJR室蘭線で踏切事故があり、列車で試験に向かう受験生4人を道警がパトカーで会場となつてきる室蘭市の室蘭工業大学まで運んだ。センターは、過去にパトカーで受験生を送ったケースは聞いたことがないとしている。

り、監督者のミスで正規の試験時間確保できなかつたりしたとして、計5人が地理歴史・公民や外国语の再試験対象となつた。

・ 0%の47万1932人受けた。  
英語のICプレーヤーを使りスニンク試験では、機器の不具合などで中断部からやり直す再開テストで、全国で1~2人が受けた。受験生のうち、高校生を今春卒業予定の現役生1728人増の47万350人で81・3%を占めた。

一方、既卒者も4830人増の10万3948人(17.8%)で4年ぶりに10万人を超えた。高校卒業程度認定試験(旧大検)合格者は0.9%。

14日は理科と数学を実施。センターはカンニンケなどの不正行為があつた場合で都道府県名と概要を14日夜に公表する。

とが夢。今回の受験は大丈夫です

科大の2会場では、積雪で  
交通機関に乱れが生じたた

**3万人**  
試験始まる

大丈夫」と言つてくれた恩  
とが夢。今回の受験は大丈  
夫です」  
藤沢市の県立高校3年男  
子(18)は国公立大の経済学  
部を狙う。「将来は商社に  
勤めたい。現役合格は間違  
いないと思います」と余裕  
の表情だった。  
正門前では、各高校の教

科大の2会場では、積雪で交通機関に乱れが生じたため、試験全体の開始時刻を1時間繰り上げた。このほかにも大雪や事故などによる電車の遅延により、北海道、新潟、栃木、東京、神奈川、富山、石川、福井、滋賀、愛媛の会場の一部で